

いばらき

第246号

雇用ニュース

2002年10月



一里の秋ー（太子町）いばらき自然環境フォトコンテスト入選 撮影者 中山 清さん

**「人材の募集・確保は
ハローワークが応援します!!」**

－ お も な 内 容 －

- 。 県内の雇用情勢 2
- 。 「平成14年度茨城県障害者雇用促進の集い」を開催 3
- 。 次の方々が受賞されました 4
- 。 10月は「労働保険適用促進月間」です 5
- 。 雇用保険料率が改定されました 6
- 。 11月は「建設雇用改善推進月間」です 7
- 。 茨城県雇用関係主要指標 8

茨城労働局職業安定部

ホームページアドレス <http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/>

新規求職者数が17か月ぶりに減少（前年同月比0.3%減）

製造業の新規求人数は2か月連続増加

1 概 況

8月の雇用失業情勢をみると、製造業における新規求人数が前年同月比で2か月連続して増加しましたが、運輸・通信業やサービス業で減少に転じ、全体では2か月ぶりに小幅な減少となりました。

新規求職者数は、前年同月に比較して非自発的離職者や在職求職者の増加幅が大きく縮小し、定年到達者の減少もあって、17か月ぶりの減少となりました。

有効求人数は前年同月比7.3%減の29,460人となり、有効求職者数は同14.6%増加し59,546人となりました。求職者1人当たりの求人数を示す有効求人倍率は0.51倍（季節調整値）となり、前月を0.01ポイント上回りました。

そうした中で、就職件数は3,171件となり前年同月比では1.7%増加、11か月連続の増加となりました。

雇用保険受給者実人員は、前年同月との比較では19.7%増加し、26,373人となりました。

有効求人・有効求職の推移（日雇・学卒を除きパートタイムを含む）



平成13年12月以前の数値は新季節指数により改訂されています。

2 新規求人の動き

新規求人数は12,116人となり、前年同月との比較では1.2%減少、2か月ぶりの減少となりました。

産業別にみると、製造業（同7.6%増）で増加し、建設業（同6.5%減）、運輸・通信業（同3.1%減）、及びその他の産業（同23.3%減）では減少しております。

規模別にみると、29人以下（同5.5%減）、30～99人以下（同4.7%減）、及び500人以上（同24.2%減）で減少し、100～299人（同27.8%増）、及び300～499人（同103.3%増）規模では増加しております。

4 失業の動き

失業の動きを雇用保険業務でみると、受給資格決定件数は3,453人で前年同月に比較し11.9%減少しました。新規求職者数に占める割合は29.1%で前年同月（33.0%）より3.9ポイント低くなっております。

被保険者資格喪失者のうち事業主都合離職者の割合は12.1%を占めるとともに、前年同月に比較し31.0%減少しております。

雇用保険受給者実人員は、前年同月に比較し14か月連続して増加、26,373人となり、比較可能な範囲では最高水準となりました。

3 新規求職の動き

新規求職者数は11,858人で前年同月との比較では17か月ぶりの減少（8月0.3%減）となりました。

雇用形態別の割合は、一般88.3%、パートタイム11.7%となっており、性別の割合は男性54.1%、女性45.9%となっております。

また、45歳以上の中高年齢者の占める割合は27.8%で前月（7月35.0%）より7.2ポイント低くなっております。

局・ハローワーク・県・協会共催による 「平成14年度茨城県障害者雇用促進の集い」 を開催

9月17日（火）ホテルレイクビュー水戸において、「平成14年度茨城県障害者雇用促進の集い」が盛大に開催されました。

本集いは、茨城労働局・ハローワーク・茨城県・茨城県雇用開発協会の共催により、障害者の雇用促進と職業の安定を趣旨として、事業主をはじめとする県民一般に対し、障害者雇用についての正しい理解と併せて障害者自身の職業的自立・意欲の喚起を図ることを目的として「障害者雇用促進月間」にちなんで開催しております。

「集い」では、厚生労働大臣表彰伝達及び披露、茨城県知事表彰、茨城県雇用開発協会長表彰に続いて、コーディネーターに清水紀弘氏（現・茨城県教育研修センター主査、前

・茨城県立水戸高等養護学校長）、パネラーに飛田好文氏（水戸公共職業安定所業務部長）、辰田智氏（株）ココスジャパン人事部長）、鵜田陽子氏（茨城障害者職業センター主任カウンセラー）を迎え、「上げよう・障害者雇用の輪」《それぞれの提言》をテーマに、シンポジウムが行われました。参加者それぞれの立場・経験から、障害者の雇用を取り巻く現状と課題に対する提言及び今後の支援策など、幅広い内容に及びました。

当日の出席者からは、「障害者の現状と企業の具体的な取り組みの内容がよく理解でき大変参考になった。」という感想が聞かれました。

また、当日は障害者の製作した作品の展示・即売会も同時に開催されました。



－ 主催者あいさつ －



－ シンポジウムの様子 －

次の方々が受賞されました

おめでとうございます

《厚生労働大臣表彰》

(敬称略)

障害者雇用優良事業所

水戸信用金庫

優秀勤労障害者

大友博徳 (株) ミツキヤ

鬼沢徳一 (株) 日立製作所水戸事業所

《茨城県知事表彰》

障害者雇用優良事業所

株式会社 カスミ

優秀勤労障害者

皆川定利 (医療法人 愛宣会秦病院)

池田博 (関彰商事 (株))

杉山克行 (有) 鯨井会計

《社団法人 茨城県雇用開発協会長表彰》

障害者雇用優良事業所

トステム水戸 株式会社

優秀勤労障害者

竹内義則 (株) 日立製作所機械研究所

渡辺昇 (SMC(株) 筑波工場)

伊藤健一 (株) 武井工業所

須貝広二郎 (株) カスミ 鉾田店

鴻巣正夫 (株) しんとね

障害者職場適応優良指導員

岡本芳久 (株) I N A X 筑波工場



— 厚生労働大臣表彰 —



— 茨城県雇用開発協会長表彰 —

支え合う 働くみんなの 労働保険

10月1日～10月31日は労働保険適用促進月間です。

入っていますか。労働保険（雇用保険と労災保険）！

支え合う
働くみんなの
労働保険



労働保険なら、
会社や家族も
安心ね。

労働保険
適用促進月間 10/1～10/31

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署・公共職業安定所・(社)全国労働保険事務組合連合会・全国社会保険労務士会連合会

労働保険は、雇用保険と労働者災害補償保険（通称・労災保険）を総称したもので、保険給付は両保険制度でそれぞれに行われておりますが、保険料の徴収については、加入事業所の利便と事務処理の能率向上を図るために一元的に扱うこととしており、職場の皆さんが安心して働くための制度です。

○ 雇用保険制度とはこんな制度です。

労働者が失業したとき保険給付を行うほか、再就職や雇用の継続を促進するため必要な給付を行います。

○ 労災保険制度とはこんな制度です。

業務災害または通勤災害により、負傷したり、疾病にかかった労働者や死亡した労働者の遺族に保険給付を行います。

◎ 労働者を一人でも雇用する事業主は、加入が義務づけられています。

◎ パートタイム労働者の方で、一定の要件を満たす方は雇用保険の加入が義務づけられています。

なお、加入手続きについては、茨城労働局労働保険徴収室（029-224-6213）、最寄りのハローワーク（公共職業安定所）、または労働基準監督署へおたずね下さい。

10月1日から雇用保険料率が改正され 1000分の2引き上げられました

現下の雇用失業情勢や雇用保険財政の状況にかんがみ、労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号）第12条第5項のいわゆる弾力条項により、平成14年10月1日から雇用保険料率を1,000分の2引き上げるとともに、保険料の追加徴収を行うこととなりました。

1,000分の2の引上げ分は、事業主の方、被保険者の方、それぞれ1,000分の1ずつの負担となり、被保険者の方が負担すべき雇用保険料額を定める「一般保険料額表」も変更になります。事業主の方におかれましては、給与から控除する際には十分にご注意下さい。

変更の内容

	事業の種類	変更前	変更後
1	2及び3以外の事業	15.5/1000	17.5/1000
2	○土地の耕作若しくは開墾又は植物の栽植、栽培、採取若しくは伐採の事業その他農林の事業 ○動物の飼育又は水産動植物の採捕若しくは養殖の事業その他畜産、養蚕又は水産の事業 ○清酒の製造の事業	17.5/1000	19.5/1000
3	土木、建築その他工作物の建設、改造、保存、修理、変更、破壊若しくは解体又はその準備の事業	18.5/1000	20.5/1000

保険料の追加徴収

各個別事業主の皆様へは、12月中旬に郵送により納付していただく金額等をお知らせし、15年1月31日までに同封の納付書により納めていただくこととなる予定です。

詳しくは、厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp>）をご覧になるか、茨城労働局労働保険徴収室（029-224-6213）、最寄りのハローワーク（公共職業安定所）、労働基準監督署におたずねください。

ちっさな努力を積み重ね でっかく歩む雇用改善

—— 11月1日～11月30日は建設雇用改善推進月間 ——

建設業は、国内総生産の約12%を生み出し、全雇用のほぼ1割に当たる約520万人の労働者に働く場を提供する基幹産業として、我が国の経済・雇用を支える重要な役割を果たしているが、雇用管理の実態をみると、労働時間短縮の進展等雇用改善は着実に進んでいるものの、雇用関係の不明確性や不安定な雇用形態の存在、労働福祉の立ち遅れ、労働災害の多発など依然として解決すべき課題は多い現状にあります。

また今日、建設業は厳しい経営環境に直面しているが、この困難な時期を乗り越え、建設業の発展に道筋をつけていくことは、我が国経済の発展や雇用の安定にとって極めて重要である。

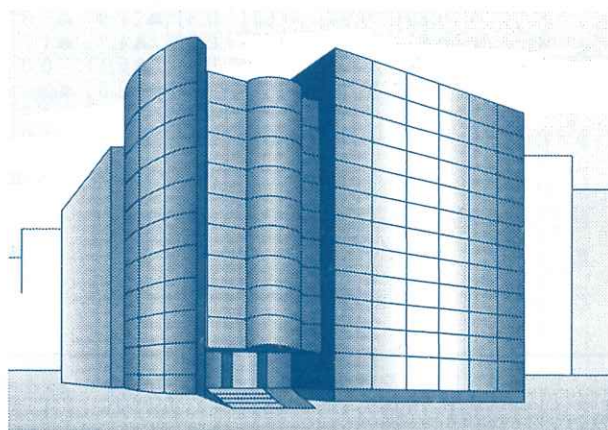
このような観点から、本年度においても建設労働者の雇用の改善について、建設事業主を始め関係者の関心と理解を深め、雇用改善の一層の推進を図ることを目的として「建設雇用改善推進月間」を11月に実施し、中央及び地方の各機関を挙げて各般の啓発活動を展開します。

主 な 行 事

「建設雇用改善推進大会」の開催

- 日 時 平成14年11月20日（水） 13：30～16：30
- 場 所 茨城県建設技術研修センター
水戸市青柳町 4193 TEL 029-228-3881
- 内 容
 - *雇用改善優良事業所表彰
 - *雇用改善標語及び図面等優秀作品表彰
 - *講 演

講 師 岩佐 豊氏（元・ダイヤモンド社 代表取締役社長）
演 題 「転換期を迎える日本経済と
勝ち残る企業の経営者の条件」



茨城県雇用関係主要指標

年・月	新規求人数			新規求職申込件数		月間有効（月平均）		就職件数	雇用保険受給者 実人数 （基本手当分）
	全数	うち 2次産業	うち 3次産業	全数	うち 中高年	求人全数	求職全数	全数	
11年度月平均	10,870	4,003	6,795	11,930	3,375	27,515	50,849	3,036	20,662
12年度月平均	12,762	4,705	7,976	11,424	3,288	33,366	48,825	3,218	19,650
13年度月平均	11,963	3,567	8,303	12,927	3,724	31,151	53,472	3,266	21,413
13 年 4 月	12,443	4,162	8,128	15,761	5,267	33,632	52,576	3,394	17,584
5	12,494	3,788	8,631	13,039	3,234	32,670	53,645	3,410	19,894
6	12,275	3,853	8,368	11,964	3,231	31,665	53,120	3,325	19,596
7	12,515	3,829	8,515	11,783	3,394	32,279	52,550	3,424	21,004
8	12,265	3,710	8,456	11,895	3,304	31,782	51,950	3,118	22,028
9	12,355	3,891	8,396	12,650	3,356	32,390	52,779	3,295	21,805
10	13,110	3,672	9,307	14,726	4,273	32,661	55,929	3,708	23,120
11	10,951	3,142	7,737	12,163	3,406	30,427	55,316	3,302	22,768
12	9,301	2,825	6,419	8,921	2,793	27,621	51,084	2,762	22,726
14 年 1 月	12,761	3,469	9,207	14,952	4,773	28,914	52,998	2,732	22,925
2	11,770	3,174	8,530	13,065	3,575	29,523	53,705	3,209	22,268
3	11,311	3,294	7,947	14,209	4,079	30,250	56,009	3,510	21,242
4	11,861	3,588	8,165	20,031	7,321	29,328	61,610	3,622	21,749
5	11,857	3,480	8,270	15,396	4,735	28,704	63,204	3,732	23,411
6	10,740	3,419	7,254	13,285	4,351	27,652	61,241	3,511	23,400
7	12,759	4,135	8,548	15,272	5,341	29,483	62,403	3,748	26,179
8	12,116	3,808	8,211	11,858	3,298	29,460	59,546	3,171	26,373
9									
10									
11									
12									
15 年 1 月									
2									
3									
4									

年・月	求人倍率（季節値）（倍）				前年同月比増減率（％）								全 国 完全失業者	
	新 規		有 効		新規求人		新規求職		就職件数		受給者実人員		実数 （万人）	失業率 （季節・％）
	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国	茨城	全国		
11年度月平均	0.91	0.90	0.54	0.49	▲1.4	4.1	6.0	3.1	6.1	5.7	8.3	1.5	320	4.7
12年度月平均	1.11	1.08	0.68	0.62	17.4	20.0	▲4.2	▲0.7	6.0	6.0	▲4.9	▲3.6	320	4.7
13年度月平均	0.93	0.96	0.58	0.56	▲6.3	▲3.7	13.2	8.6	1.5	1.8	9.0	7.5	348	5.2
13 年 4 月	1.10	1.07	0.69	0.62	4.7	10.3	3.7	4.5	▲3.0	1.0	▲5.1	0.4	348	4.8
5	1.11	1.07	0.68	0.62	13.2	10.4	1.3	3.1	1.4	5.4	0.9	7.4	348	4.9
6	1.06	1.06	0.67	0.61	3.2	▲1.1	1.5	▲1.3	▲6.8	▲0.3	▲2.3	2.1	338	4.9
7	1.01	1.01	0.66	0.60	1.2	3.1	8.8	8.2	6.6	5.0	3.0	6.9	330	5.0
8	0.93	0.99	0.63	0.58	▲8.6	▲3.9	6.8	4.2	▲2.4	▲2.0	0.7	4.7	336	5.0
9	0.89	0.97	0.59	0.57	▲12.4	▲8.5	13.7	2.7	▲1.4	▲4.7	5.9	6.7	357	5.3
10	0.85	0.90	0.56	0.54	▲8.4	▲7.2	26.3	19.2	4.9	4.0	12.3	9.6	352	5.3
11	0.81	0.90	0.52	0.52	▲12.6	▲7.1	31.2	16.4	4.2	3.2	12.8	9.6	350	5.4
12	0.79	0.91	0.50	0.51	▲17.5	▲14.0	21.6	8.3	0.4	▲1.1	19.7	11.2	337	5.5
14 年 1 月	0.82	0.85	0.51	0.51	▲10.0	▲8.6	27.1	18.2	5.0	7.9	22.1	13.2	344	5.3
2	0.85	0.88	0.50	0.50	▲11.4	▲7.2	18.6	16.4	5.2	3.7	20.9	10.8	356	5.3
3	0.89	0.94	0.52	0.51	▲11.9	▲7.5	8.6	5.3	5.2	1.2	20.0	7.6	379	5.2
4	0.82	0.90	0.52	0.52	▲4.7	▲1.7	27.1	16.8	6.7	7.5	23.7	8.5	375	5.2
5	0.89	0.95	0.51	0.53	▲5.1	0.0	18.1	14.0	9.4	5.1	17.7	5.6	375	5.4
6	0.83	0.96	0.51	0.53	▲12.5	▲3.0	11.0	6.1	5.6	3.4	19.4	3.8	368	5.4
7	0.79	0.89	0.50	0.54	1.9	4.6	29.6	18.8	9.5	15.1	24.6	3.4	352	5.4
8	0.93	0.98	0.51	0.54	▲1.2	1.0	▲0.3	1.6	1.7	6.2	19.7	▲0.7	361	5.4
9														
10														
11														
12														
15 年 1 月														
2														
3														
4														

（注） 1. 学卒・日雇を除き、パートタイムを含む。 2. ▲印は減少を示す。
3. 求人倍率と全国完全失業者については月平均 4. 平成13年12月以前の季調値は季節調整値替えにより改訂されている。